

2022.11.13. これらの質問を問う

第一ペテロ 5章 1～4 節

JD ファラグ牧師

天のお父様...毎日曜日に言っているような気がしますが、主よ、ここにいることは、なんとという特権でしょう。なんとという特権であることでしょう。主よ、あなたの聖霊を求めます。どうかこの場所に来てくださいますように。今、私たちに必要なものが何であろうとこの瞬間に必要なもので満たしてください。そうすれば主よ、私たちは完全に、あなたに心を向けられます。主よ、JD 牧師が伝える御言葉を通し、私たちに語りかけてください。主よ、これからも彼と彼の家族を守り、お養いください。ありがとうございます。感謝します！ イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます、ようこそ。ご着席ください。着て下さりとともうれしいです。オンラインで参加される方も歓迎します。大変嬉しいです。始める前にさっとお知らせしますが、(11月24日)木曜日の感謝祭の夜は、聖書の学びはありません。早いもので、感謝祭は、来週の24日です。信じがたいですよ？というわけで、覚えておいてください。今日も、「第一ペテロの手紙」、節ごとの学びを続けます。5章1節から4節が今日の聖書箇所です。可能な方は、お立ち下さり、ご無理な方は大丈夫ですが、私が読むのについてきてください。再度、ご無理な方は、座ったままで結構です。使徒ペテロは聖霊によって続けて書き、こう言っています。5章1節から、

—I ペテロ 5:1—

私は、あなたがたのうちの長老たちに、同じ長老の一人として、キリストの苦難の証人、やがて現される栄光にあずかる者として勧めます。

—I ペテロ 5:2—

あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを牧しなさい。強制されてではなく、神に従って自発的に、また卑しい利得を求めてではなく、心を込めて世話をしなさい。

—I ペテロ 5:3—

割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。

—I ペテロ 5:4—

そうすれば、大牧者が現れるときに、あなたがたは、しばむことのない栄光の冠をいただくこととなります。

祈りましょう。父なる神様、あなたの御言葉を、本当にありがとうございます。今朝、私たちの前に与えられた、聖書のこの箇所に感謝します。主よ、どうか.....お願いします。あなただけがお出来になる通り、聖霊によって、まず私たちの注意を引きつけ、保ってください。そうすれば、私たちの心は彷徨いません。敵がこの上なく望むのは、私たちの気を散らし、他の事を考えさせ、あなたが今日の御言葉で示されるものを見逃すことです。主よ、あなたがいつもご忠実になさる通り、聖霊の静かな小さな声でお語りくださるのを待ち望みます。主よ、あなたがそうなさる時、私たちは、あなたが私たちの人生に語ろうとされていることを受け取る心を持ちたいです。私たちはしなやかな心の土壌を持ちたいです。あなたが語られる時その種がしなやかな土壌と出会い、発芽し、芽生え、多くの良い実を結ぶことができますように。主よ、どうか今日そんなさってくださいませんか？ イエスの御名において祈ります。アーメン、アーメン。ご着席ください。どうもありがとうございます。

それでは、「これらの質問を問う」というタイトルはいささか漠然として平凡すぎますが、その理由はす

ぐに分かると思います。1節から4節で、ペテロは、具体的に羊飼、長老、牧師、監督に向かって語っています。しかし、5節から9節になると、主の御心なら、来週学びますが、ペテロは、羊/民衆に向けて語ります。なので来週、来てくださいね。皆さんについてですから。ほら、言いましたからね。今日は、私に優しくしてくださいね。牧師に向けてなので。今日の御言葉をどのように教えるのが最善か尋ねるの御前で時間を過ごしました。で、5つの非常に重要な質問を投げかけることに決めました。まず自分自身に問い、それからミニストリーに仕えている人たち、特に牧師や指導的立場の人たちへ。では、始めましょう。準備はいいですか？

1つ目は、1節です。

質問：「苦しみを理解しているのか？」

これにお付き合いください。なぜ、私がこのように表現し、このように質問しているのかを説明しようと思いますが、ペテロがここで書いている事を理解するには、初代教会での彼の際立った立場を考慮すべきだと考えます。改めて一緒に考えてください。イエスの弟子たち全員の中で、福音書に最も多く記されているのがペテロだにご存知ですか？ 事実ペテロは、他の弟子たちを合計した回数よりも多く記されていると言われてます。そのことを心に刻みましょう。ペテロの性格がそうさせたと思います。自分でしでかしたことです。彼は、非常に遠慮なく言う人で、彼はいつも、先頭に立って発言する人でした。皆さん彼に、敬意を表さないといけません。この人は.....つまり、彼の意向は、常に主のためでした。彼はただ理解していなかっただけです。今、弟子のペテロから、使徒となったペテロへ早送りして、これが、彼の使徒としての最初の手紙です。そう、ペテロに何かが起こったのですよ。気づきましたか？ 今の彼は、弟子の時の彼とは違います。皆さん、覚えていますよね。弟子としてイエスと一緒にいた頃、ペテロは、ちょっとしたことで地位を争っていたのを。何というか、ほとんど、競争のようでした。福音書を読むと、特にヨハネについて、実に興味深い詳細が書かれていて、驚かされます。ヨハネとペテロの2人は、険悪な関係だったのでは？と思います。いつもペテロ、ヤコブ、ヨハネの3人でした。言わば、このビッグ3。「ヨハネの福音書」で、とても興味深いのが、ヨハネがペテロより先に墓に着いたことをわざわざ記しています。そうすることによって、彼は自分が最もイエスに愛された弟子であることを、私たちに注意深く示唆します。でしょう？ ここでペテロはこうです。「マジ？ヨハネ。マジか？」つまり、それが当時のペテロでした。しかし（今日の箇所は）現在のペテロです。では、これを聞いてください。彼は、イエスの苦しみを知る者ではなく、自分自身がイエスの弟子であると名乗ることができたのにそうしません。事実、彼は自分自身を人々のレベルまで下げ、「私は監督たちの仲間であり、長老の仲間である」と言い、自分自身をイエスの弟子としてではなく、イエスの苦しみと一致させています。わお～。ペテロ、私は感動する！ 私だったら、絶対にしません。私ならこう言います。「私が誰だか知ってる？ 私はペテロだ。私の信仰告白という岩の上に 教会が建てられるのさ。」

「私は、イエスに『あなたに鍵を渡す』と言われた者さ。」

「バルヨナ・シモン、あなたは幸いです。このことをあなたに明らかにしたのは人ではなく、天におられるわたしの父です。」(マタイ 16:17)

これは、彼らが、非常に悪魔的な場所ピリポ・カイサリアにいた時のことです。一緒にイスラエルに行ったことのある方、ご存知ですね。イエスはこの場所で弟子たちに問われました。

「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」(マタイ 16:15)

そして、ペテロが言いました。

「あなたは生ける神の子キリストです。」(マタイ 16:16)

イエスは何と仰ったでしょう？「そうです！正解！ペテロ、グッジョブ。」

私がペテロなら、他の弟子たちを見回し、(得意そうに)言うと思います。

「今の聞いたか？ 今、イエスが私に言ったことを聞いたか？」

イエスが弟子たちを、向こう岸に行かせるため乗せられた船が、湖上で嵐に遭ったとは、どうだったでしょうか？ 彼らは、「もう終わりだ！私たちは死ぬんだ！」そして突然、彼らは震えあがります。嵐の中、水上を歩いて近づいてくる人影が見えるから。彼らはそれがイエスだと気づきます。

「主だ！」と言ったのは誰でしたか？ ペテロです。こう言える大胆さを持っていたのは誰？

「私に來いと命じてください。」(マタイ 14:28)

私たちは大変ペテロに厳しいです。彼が主から目を離して沈み、目を離したから溺れ始めたことに焦点を当てるからです。

「主よ、助けてください！」(Lord, Save me/3語)

たった3語の祈り。神は、たった3語の祈りにさえ答えてくださる事に、私はとても励まされます。イエスは彼らを救われます。牧師たちは、こういうの得意なんです。私たちは、最高の説教を作り上げます。

「ペテロは主から目を離した！」ちょっと待ってください。ペテロは、こう言った人です。

「主よ、私は水の上を歩いてあなたのところへ行きたいのです。」どうですか？ それが信仰です。私たちはそのことを強調しません。それが勇気です。私たちはそれを強調しません。それが主にあつての確信です。私たちはそれを強調しません。私なら絶対するのが、私なら本を書きますね。

「イエスと共に水の上を歩く」J.D.ファラグ著 ー(笑)ー

でも、ペテロはそうしません。彼はそういうものを何一つ持ち出しません。彼は何を持ち出すのか？ 彼は何を明らかにするのか？「苦しみ」です。それが最初の質問で、私がこのように表現する理由です。

これは、私たち自身に問うべき質問で、また、指導的立場で奉仕する人たちや、間違いなく牧師的立場にある人たちに問うべき質問です。あなたは、苦しみを理解していますか？ あなたは、キリストの苦しみに与っていますか？ なぜなら、「キリスト・イエスにあつて敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。」(Ⅱテモテ 3:12)

それが苦しみです。なぜなら、あなたが苦しみに与るなら、やがて現われる栄光にも与ることになるからです。それが主の苦しみとの交わりです。私はそれを理解します。それを明確に浮かび上がらせるものは、私がイエスの苦しみに与り、その交わりを分かち合うことで、そうすれば、イエスの栄光に与り、分かち合えるのです。使徒パウロは、聖霊によって、聖書の中でも、最も切実で深遠かつ力強い節であると思いますが、彼は基本的にこう言います。

ーローマ 8:18ー

今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないとは私は考えます。

ここで繋がりと、問いかけがあるのが分かりますか？ あなたは、苦しみの目的を本当に理解していますか？ あなたはそれと戦うのか、それとも受け入れるのか？ それを理解しているのか、誤解するのか？ 自分に正直になれば、私たちは認めざるを得ません。私たちは、苦しみを避けるため、人生で最大限の努力をすることに、多くの時間を費やします。ですよね？ もう一步踏み込んで、この件に関して私は誰よりも罪があります。私は、自分が快適で不都合がないよう、とことんまでこだわります。

そんな目で見ないでください。皆さんも大概でしょう？ 私たちは、不都合が嫌いです。私たちは、不愉

快な思いもしたくありません。よくよく考えてみると、私たちは快適さを守るために、多大な努力を払います。ここで、私自身のことを例に挙げてみます。

先週、インターネットがダウンしました。十字架を背負うことになるのは承知しています。私は仕事をしなければなりません。つまり、これはどうなってるんだ?! ー(笑)ー これは都合よくありません。

とても、とても困り、私は非常に苦しみました。皆さんにそのことを知ってほしいです。そして、さらに悪いことに.....ひどい話ですが.....さらに悪いことに、今回は、以前よりも長く続きました。更にもっと苦しんだので、なおいっそうムカつきました。しかし、神は。とても興味深いことに、

「あなたは、受信箱の 5612 通のメールに今、返信する必要はないし、聖書ソフトにインターネットは必要ありません。」

どうでしょう? 「今 YouTube の動画さえも見れません。」 あ”~~ 「あ”~ダメ~~!」

「さあ、今、わたしはあなたを独り占めします。」

では、その苦しみを回避するためにどうするか考えてみましょう。私たちが苦しみの目的を理解していない事実が大きく起因し、そのため私たちは、キリストの苦しみに同調しようとしません。私たちは、何でもかんでもすぐ同一視します。これはおもに、監督と長老に向けられたものなので、牧師についての話をしましょう。御言葉を教えることに関してはどうでしょうか? 木曜日の夜、「エレミヤ書 35 章 36 章」を学びました。なんとすごい箇所です。エホヤキム王は、書記のバルクが、エレミヤの全ての預言を口述した、神の御言葉の巻物を取り取ります。それが 36 章です。これは狂ってます。こうです。

エホヤキムは、書記の小刀を取り、御言葉を裂いて、それを火に投げ入れ燃やしました。(え~!!)

なぜか? なぜなら、預言の内容が自分のことであり、彼はそれを聞きたくなかったからです。彼はそれを避け、排除し、切り取って燃やしたかったのです。皆さん、こんな顔で見えていますね。

「あ~牧師さん、私は聖書を切り取りませんよ。ほら、全ページがそのままあります。火に投げ入れて燃やすなんて、考えられません。」

まあ、そんな風ではないかもしれませんが。でも私たちもやってしまいます。どういう意味ですか?

私たちは、神の御言葉が不快な話題や、苦しみについて話し始めると、それを読み飛ばし、避けます。そして、牧師は、そのことに長けています。節ごとに教えないのに、苦しみの目的について題材に上げる牧師を探すのは難しいでしょう。で、どうするのか? 神の御言葉には、神が私たちの人生で浄化されたい部分を焼き切るような箇所があり、神の御言葉の炎を必要とします。良い意味で燃やされるのではなく、私たちが御言葉を燃やしてしまうのです。私たちはそれを切り取ります。牧師が説教ノートから切り取ってしまう。それが不快だから快適さを追求するため。「私は、人に快適さを与えたい。」それが問題です。

"神は悩める者を慰める"という言葉聞いたことがある筈です。でもどうでしょう? 神は快適な者をも苦しめられます。時に私たちは、自分の罪の中で快適になりすぎることがあります。そして苦しきは、私たちを清め、救い主の苦しみと重ね合わせます。ペテロがこのような姿勢をとり、イエスの最も神聖な弟子ではなく、イエスの苦しみに自分を重ね合わせるのにはむしろ興味深いと思います。では、この問いの最後に、自分自身だけでなく、ミニストリーのいかなる立場にいる人へも、質問です。

「苦しみを理解していますか?」「苦しみを理解しているか?」

質問 2)、2 節の最初の部分です。

「義務(強制)なのか、特権なのか?」

ペテロがここで言うことの重要性は、強調し過ぎることはないでしょう。

「奉仕は、義務ではなく特権。」

”しなければならぬ”ではありません。想像できますか？「なぜあなたはミニストリーで奉仕しているのですか？」「しなきゃいけないからです。」気にしないでください。構いませんから。繰り返しますが、主は、ペテロの人生と心に、深い働きをなさいました。間違いなく、イエス復活までのペテロの数年にわたる働きの中で。なぜなら、これは弟子のペテロではなく、使徒ペテロだからです。この使徒ペテロは、今、主に仕えることが深い特権だと見なしています。「これを私がやるってこと？」「まさか！」「まさかだよ！」

何年も前、「牧師以外に他にやりたいことがあるなら、行ってやりなさい。」と、早くから教えられたことにとっても感謝しています。つまり、あなたの心がそこにはないのなら、ミニストリーに入らないでください。あなたが、牧師であろうと、ミニストリーのどんな立場であろうと、どんな奉仕もあなたがこれを深い特権と思えないなら…やらないでください。牧師の場合、特権とは思えないなら、長続きしないでしょう。すぐに噛み砕かれて、吐き出されます。私たちの主への奉仕を深い特権と見なさないなら、たった1つの事でも、怒ってしまうでしょう。

「よくもまあ、そんなことを。」「私が誰だか知っているのか？」「私がどんな地位にいるか知っているのか？」「私にどんな権限があるか知っているのか？」上手くし過ぎたかもしれません。分かりませんが。—(笑)— あなたは何を言ってるのですか？ 自分が大切な存在だと思い込み、必要以上に自分を高く評価しているのではないですか？ そんな風に見るのですか？ それなら、あなたに特権があるのではなく、あなたの指導下にある人々に特権があるのですね？ 意味がわかりますか？ こんな風です。

「彼らは、私がいるから特権があるんだ！ イエスと水の上を歩き、ローマ兵を相手にした使徒、弟子のペテロだぞ！」

それが3章です。ポイントは分かると思います。それなら義務です。さっと「詩篇」を見ます。いつも34篇と37篇が混同するのですが、34篇で間違いありません。皆さん、その節は知ってますね。私たちはそれを歌にして歌います。暗記します。その節知ってますね？ 引用もします。

—詩篇 34:4—

私が【主】を求めると主は答えすべての恐怖から私を救い出してくださった。

ですね？ 何の話か分かりますね？ OK。聞いてください。私が若い信者だった頃、思いました。

「かっこいい！」私がすべきは主を喜ばせることだけで、私の心が望むものは何でも主が与えてくださる。やったね～！ 嬉しいですね。」そんな仕組みじゃありません。その仕組みは、神はまずその願望を、あなたの心の中に、先に置かれます。そして、神があなたの心に置かれたその願望を、あなたが望むというプロセスが始まり、その願望に喜びを感じるようになります。なぜなら、それは神が最初にあなたの心に置かれた願望だからです。それは神の願望です。それは主の御心の願いで、今、あなたの心は神の心に従い、あなたは神の御心から神の事柄を求めます。つまり突然、人生うまくいっている人が、全部手放してしまうんですよ。所有していた美しい家、世俗的な成功の全虚飾、高給の地位。それが突然、第三国に行って、汚い地面のテント暮らしだと聞く。何があったの？ 何があったのか、教えましょう。神はその願望を彼らの心に置かれ、そしてその願望が叶うことが喜びとなったのです。それが唯一の説明でしょう？ 論理的な領域では説明になりませんが、超自然的な領域に入ると、お～なるほど、となります。そして、彼らと会話をして、説得しようとするのは、おそらく難しいことでしょう。問い詰めても、こんな感じです。「頭に鈍器で殴られたようで、何が起きているやら？」いいえ、神が私たちに召され

たのです。これが神の御心ですから、私たちの心の願望なのです。神があなたをそのようにされるとき、義務（強制）です。神はあなたが他には何もできなくされます。この件に関して、最後の1つ。最後の1つと言いました？ まだですね？ じゃあ良かった。さっと言います。皆さん覚えていますか？ 復活後、主の仰った通りペテロが3度主を否定し、ペテロは、思いました。「私は間違いなくクビだろう。。」そして、彼は漁師に戻り、惨めに失敗です。ペテロは漁をしようと、一晩中出てます。これがプロの漁師ですよ。イエスが現れて「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にあげよう。」

（マタイ4:19）と仰られるまでは、彼は大変良い漁師でした。

彼はすべてを捨ててイエスに従ったのですが、イエスを否定してしまいました。それで彼はどうしたのか？ 元の仕事に戻りました。自分の知っている事に留まり、知っている事に戻る。それで彼は再び出かけて、おそらくイエスに従ったときに売った船を借りるか買い戻し、網を手に入れました。彼は自分のしていることを分かっています。もう3年ぐらい経ちますが、彼は（漁師の仕事）覚えています。で、彼は自分の仕事に戻ろうとしますが惨めに落ち込んでいます。なぜか？ 神がペテロを首ったけにされたからです。そして、そんなペテロにイエスが現れます。ほとんどユーモアです。これをユーモアと見ることをお許しください。私は何にでもユーモアを感じますよ。特に、毎日鏡の中にね。でも面白いのが、イエスがペテロに現れた時、こんな感じだからです。「ペテロ、何をしていますのですか？」「もうあなたとは絶縁だと思えます。本当にすみません。あなたを3度否定しました。。」「ペテロ、まず網を張って魚を取りなさい。」わおっ、入りきらない！ これまた、その時の弟子ペテロについてのこれが大好きです。網を張って魚が大量に取れた時、ペテロは「主だ！」と言います。そう思う？ そして彼は船から飛び出します。今度は水の上を歩くのではありません。海岸に向かって歩いています。そして、主の御前に崩れ落ち、ただただ泣いたことでしょうか。主は何をなさるでしょうか？

「ペテロよ、そこに座れ！ 話す必要がある。言ってあったはずだ。あなたはわたしを否定するって。何を考えてるんだ？」

違います。もっとこんな感じです。

「ペテロ、良い試みですね。漁師に戻ろうとしてるのですか。ペテロ、あなたの心に祝福を。愛おしいですね。あなたは漁師には戻りませんよ。そのために、わたしはあなたをダメにしたんです。わたしはあなたを回復させ、あなたは人間をとる漁師になるのです。」

そして、ペテロはそうになりました。最初の説教。3000人が救われます。誰が説いたか知っていますか？ ペテロです。お〜〜 この人が大好きです！ 悪評が多いようですが。

では、3つ目の質問です。もう一息です。2節目の後半部分。これはデカいです。どれもデカいですが、これは特にです。

質問です。「欲にかられてしているのか？」

何が悲しいかという、これは大変大きな問題で、こんにち健在です。多くの人々が、召しではなく、金のために聖職（ミニストリー）に就いている。

ペテロは言います。「欲にかられてするのではなく、奉仕することに熱心でありなさい。」

ミニストリーに入る人、ミニストリーの中にいる人、ミニストリーのその他の地位に、経済的利得のためにする人がいます。ちなみに、人々はそれを知っており、匂いで分かります。醸し出ます。そう、最初の20分の説教が什一献金について。実際、12週間のシリーズがあり、パート1だけで、12週間 什一献金についてです。彼らはお金のためにしています。私はその話をするにはできません、しません。

長年に渡る私の経験、ここではなく本土での話です。敢えて言いません。しかし、ひどい、怠惰な、何の役にも立たない従業員で、雇い主にクリスチャンとして酷い証人となって、クビになった人を実際に知っています。それに対して、どんな反応だったか？

「わお～神が私をミニストリーに召された。」「私は断言します。兄弟、あなたが解雇されたから神があなたをミニストリーに召されたのではありません。クビになるのが当然だからクビになったのです。」

あ”～～気をつけないといけません、言う必要があります。なんだかよくわかりませんが、人々には、ミニストリーへのイメージがあってそれが、何と云うか、すごく間違っています。断言します。

こういう感じです。あなたはバラ色のメガネで見ている。言った通り、ここではなく本土でですが、牧師としての私を見た人が、こうやってきたことがあります。

「うわ～私も牧師になりたいよ。週の残りは何をしますか？ ゴルフですか？」は????

何ですって？ そう彼らは、こんなイメージを持っています。

「お～、ただ週の半ばにやっているから、私にもできるぞ！簡単だ。」そういう人たち、繰り返しますが、本土での話です。近寄ってきて、「牧師さん、ちょっと聞きたいんですが、平日は何をされているんですか？」「は～???? 仕事をしていますが、私が何をしようと思ってるんですか？」

公平に見て、そうでない人たちがいるから、そんな質問をするのです。ミニストリーや牧師、そういう私たちの深い特権に、言わば、大きなダメージを与えます。この教会を始めたとき、私は早い段階で、捧げものを受け取らないことに決めました。私たちは決して受け取りません。教会はそれをしますが何の問題もありません。でも私たちは献金皿を回したこともなければ、捧げものを受け取ったこともありません。また、神の御言葉でお金について語る箇所以外は、お金について語ることはありません。その箇所ではお金の話をします。ちなみに、私たちは何一つ不自由していません。神はすべてを提供してくださっています。さらにそれを10倍、1000倍にしてくださっています。そんな数字でしょうか？ 一拍手一どれだけの人が教会から離れ、つまずいたことでしょうか。こんな話を聞いたことがあると思います。

「説教師が金の話ばかりしている。」

彼らはそうなんです。実際に彼らはそうなんです。なぜか？ 彼らは、お金が必要だからです。なぜ彼らはお金が必要なのか？ 彼らが必要とするものを提供する源が神ではないからです。では、彼らはどうするのか？ そう、そのミニストリーの中心に聖霊がおられない場合、聖霊を過剰に補填しなければなりません。なぜなら、そう、聖霊の実、聖霊の賜物にも、与えるという賜物がありますが、それは聖霊のことです。だから、そのミニストリーで聖霊が中心でなければ、それを補うための仕掛けを考えねばならないのです。本物がいないから人工物を作らねばならないからです。ですから、聖霊によって私たちの注意を引き、注意を保ってくださるよう私が主に祈り願う時それは聖霊にしか御出来になりません。ありがたいことに、それは私の職務ではありません。それなら凄いプレッシャーです。皆さんの注意を引き、皆さんの注意を引き続けることが私の役目なら、私は牧師ではなく、何か他のことをした方がいいです。それは私の責務ではありません。聖霊のお働きです。私たちは聖霊に依り頼みます。私たちが注目するのは聖霊です。聖霊だけが可能にし、御力を与えられます。聖霊が、聖なる御言葉を通して神の聖なる民を導き提供されます。あなたがそれを断ち切ったり、妨げたり、悲しませたり、神を消したりするなら、ええ、早く別の方法を考えた方がいい。神は私たちに何が必要かを知っておられます。私は、初期の頃を覚えています。実は初日から、現在進行形ですが、この物件を手に入れたとき、それは完全な奇跡でした。私は思い出します。「神よ、あなたは私たちを何に巻き込んだのですか？」そして、リノベーションを始

めて、請求書を見て、私は思いました。

「おお、神よ！ 神よ、支払い期限があります。あなたの教会ですよ。」お～私たちはなんと得意でしょうか。今や、あなたの教会です。子どもが悪さをしている時の親みたいなのです。「あなたの息子でしょ！」「あ、今は私の息子？」「そう！」モーセは、イスラエルの民について、神とそういうやりとりをしました。「彼らはあなたの民ですよ。」神は仰いました。「違います、モーセ。あなたの民ですよ。」再度、神はユーモアのセンスがあられますね。すみません、話がそれました。4 つ目の質問、3 節です。質問は、自分に尋ねてみてください。「他人を支配するためか？」必ずしもお金のためにミニストリーにいる人に限らず、権力が欲しくてそうする人たちもいます。すなわち、権力で人々を支配する中で、人を蹂躪し、人々の霊的高ぶりを煽って力で人々を行使する。彼らは人々のために存在していません。自分たちのために存在しています。人々が彼らのためにいます。もう何年も前のことですが、80 年代に、ある運動がありました。教義の風の 1 つで、幸い、あまり長続きしませんでした。つまり、今でもキリストの体の中の小さなポケットにいるかもしれませんが、「羊飼い運動」と呼ばれていました。この運動は、牧師、長老、教会の責任者が人々の生活のあらゆる面を支配していました。大袈裟な話ではありません。家電製品が許可がないと買えません。結婚？ お～彼らは人々を支配していました。これもまた、教科書的な事例で主を、聖霊を、聖霊なる神を、正しい地位から取り除くと、何かを聖霊の代わりにその聖霊の正しい地位に置き替える。では、何を置き換えるのか？ あるいは誰を置き換えるのか？ そうあなたが聖霊になる。あなたが神となる。あなたが彼らの主となり、あなたという主が彼らを支配する。繰り返しになりますが、その当時は多くの運動があり、もちろん

「日の下には新しいものは一つもない。」(伝道者 1:9)

そんなことが起こらなかったことに、とても感謝します。しかし、マジでそのため人々の生活が損われます。いいですか、聖霊があなたを導かれるのです。牧師、長老、ミニストリーの奉仕者としてこの神の教会での私たちの姿勢は、聖霊に十分な余地・時間・空間を与えなければなりません。神の邪魔をしない。神があなたを導き、向けてくださいます。私たちが偉そうにする必要はありません。そしてまた、そう「主よ、感謝します。」です。あなたは私の・・・を追加するというのですか？

では、今度は私は、人が家電を買う手伝いをしなければならないのですか？ それは私の仕事ではありません。はい。私は他のことしてきます。いやです。いやです。ありがたいことに、逆に、契約奴隷（ギリシャ語でドゥロス）としてミニストリーで奉仕する人たちがいます。これは自分の意志で、主人に一生仕える奴隷です。それが契約奴隷です。そして、契約奴隷のしるしを自分につけます。彼らは自由になったのですよ。なのに、「離れたくない。」いいえ、あなたは自由です。あなたはもう奴隷ではありません。

「ええ、でも私はご主人を愛しています。彼は私の主人です。私は彼の奴隷になりたいです。」

主人は言います。「じゃあ、おいで。」それで、耳に、「詩篇」にも救い主に関する記述があり、耳に印をつけ、耳を突き刺します。常に、あなたは契約奴隷/ドゥロスで、自分の選択での契約奴隷です。彼らは奉仕したいのです。そして、これを理解してください。これもまた恐ろしいことで、全くもって恐ろしいのが、私はそれと戦います。正直言って、もちろん牧師の初期の頃、このことが大きな問題でした。

今から 20 年以上前、私が初めてミニストリーに入ったとき、最初はとても居心地が悪かったのです。

"牧師"と呼ばれることにとても居心地が悪ったんです。覚えています。実は、最初の頃、まだ教会を始めたばかりの青二才でした。これも本土での話です。誰かが「ねえ、JD 牧師。」私は他の誰かの事かと思いました。あ！ちょっと待って、私、牧師だ。ただそう呼ばれるのが、居心地悪かったんです。実は、それ

には理由があり、聖なる理由がありました。なぜなら、"牧師"という単語には烙印や間違った固定観念がつきまとうからです。「おお、あなたは牧師ですか?」「聖書預言・アップデート」で少し話しましたが、あなたは、間違いなく、牧師の私が届かない人々に辿り着けるより良い機会があります。なぜなら、すぐに、この質問が来るからです。私は、誰かと親しくなる際、こんな会話を何度もしたことがあります。この質問が来るのは分かっています。「お仕事は何をされているのですか?」あ”~~~~「■▽○X (牧師)です。」「何て?」恥じているのではありません。そうではなく、私には深い特権ですから。牧師だと言った途端に全てが変わります。大抵こんな感じです。

「おお、、牧師さんですか? 私のフランス語をお許してください。」聞いてよ。今のはフランス語じゃないです。私の父は高校で、4つの言語を教えていました。父はフランス語の教師でした。それがフランス語ではないのははっきり分かります。しかし、突然すべてに壁ができ、"牧師"と人々との間に大きな隔たりができます。皆さん、牧師とは何か、牧者 (under-shepherd) とは何かご存知ですか?? 牧者とは何かご存知ですか? 牧者とはそのまんまです。

(under-shepherd) =羊を管理する。下 (under)で、上(over)じゃありません。主の下にいます。世とは正反対ですね。ピラミッドの頂点に立つと...知っています? そして、世俗の世の企業構造はピラミッドで、あなたは頂点に立ち孤独です。あなたの下に、人々全てを得る。裏返すと、ミニストリーでは、牧師は底辺です。牧師は、羊飼 (主) の下です。それが牧師の仕事です。ちなみに、ペテロとパウロは? 実際、その時の様子を記してあり、彼らは、控えめに言っても、大変激しい交わりを何度もしました。実は、パウロはペテロを厳しく叱り、楽しいものじゃありませんでした。聖句に含むレベルとして必要なことだと考えてくださったことを神に感謝します。パウロはペテロを叱責しました。しかし、ペテロもそうですが、パウロの書簡を読み始めると、このような経過をたどります。そして、それはハシゴを登るのではなく、むしろ下に下りていきます。彼はイエス・キリストの使徒として始めます。というのは、当時、彼の使徒性が疑問視されていたからです。使徒でありながら、人生の終盤になると、自分のことをどう認識しているでしょう? 手紙の書き出しがどうなるか? ここでのペテロのような使徒ではありません。使徒のパウロではなく、彼は自分のことを "罪びとのかしら"と言います。(I テモテ 1:15) さて、これは重要です。なぜなら、あなたがキリストにおいて恵みを受け、成熟するにつれて、主の御前で自分の罪をより自覚するようになるからです。ペテロはイエスに言いました。

「主よ、私から離れてください。私は罪深い人間ですから。」(ルカ 5:8)

使徒パウロ。

「おお、私は本当にみじめな人間です。だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。」(ローマ 7:24)

イザヤは、主の御前で、高々と座した主の威厳と、その裾が神殿を満たすのを見、ただただ畏敬の念を抱きました。(イザヤ 6:1 参照) それで彼はどうするのか?

「炭で私の唇を清めてください。私はここにいます。私は汚れています。私は汚れた者です。」(イザヤ 6:5-6 参照)

純粋さと神聖さの御前では、自分が罪びとのかしらであることを容易に認めなければなりません。自分はみじめな罪びとだと。それがあなたの肩書きです。私は長年、よく人と冗談で話してきました。名刺ってありますよね、まだ使う人がいますよね? まだ持ってます。絶対配らないけど。ええ「牧師、JD 牧師」と書いています。本当に名刺に書くべきことは何だと思いますか? 「奴隷、J.D.ファラグ。」奴隷で

す。その方が視野が広がり、より正確です。私たちは羊飼いの下にいます。私たちは奴隷なのです。

最後の質問5つ目、4節です。おお、これは完璧ですね？「永遠へ焦点を合わせているか？」

ここで、使徒ペテロは今ここに書いたことをその動機が永遠へ焦点を合わせることで、すべてをまとめています。さて、なぜこれが重要なのか？ なぜなら、考えてみてください。永遠を思いながら、今、奉仕することは、自分の動機を清めるための必要な効果です。自分がなぜそうするのかを自分に問いかけたとき、あなたがしていることは、永遠という意味で何をしているのか？ 私の奉仕は、永遠を思っているのか？ そうすると、すべての様相が変わります。永遠というレンズを通して焦点を合わせると、私の目が天での報酬に向いているので、現在自分がしているすべてのことが完全に変わります。私がしていることは、ある人の言い方が大好きです。とても適切な言葉です。

「すぐに人生は過ぎ去る。キリストのためにしたことだけが残る。」使徒パウロは、「第一コリント人への手紙3章(12節)」で、2つの山に例えました。1つは木、草、藁、もう1つは金、銀、宝石。同じ火が、肉の業：木、草、藁を焼き尽くし、同じ火が主の為にした金、銀、宝石を清め、さらに価値のあるものにします。ですから、私がしている事、主への奉仕は、永遠を思っているかどうか問われているのかもしれない。私がすることは、どのように永遠に関わるのか？ 私がしていることは、もっと世に焦点をあてているのか？ 世俗的なものに焦点を当てていると、イエスや永遠の命に焦点が合わなくなるのが、すぐに分かります。しかし、再度イザヤが言ったように(26:3)、

「志の堅固な者を、あなた(主)は全き平安のうちに守られます」

再び、「聖書預言・アップデート」の参照をお許しいただきたいのですが、「マタイの福音書6章19～34節」山上の垂訓です。山上の垂訓とかけて、量の垂訓(笑) この地上にある宝は、虫やさびが付き、盗人が侵入して盗み、滅ぼせます。しかし、私たちは宝を必需品ではなく、宝を天に移せば、宝が天にあれば、心も天にあります。なんて言うのでしたっけ？ 家は心のある場所？ これが全てを物語っています。ここは私の家じゃない。私の心はここにありません。じゃあ、あなたの心はどこにあるの？ 私の宝がある所です。あなたの宝はどこですか？ 天にあります。再度、「聖書預言・アップデート」の参照を許してほしいのですが、皆さん、宝を持っていきません。先に送ることはできます。それが永遠への焦点です。永遠へ移すことができ、そこにあります。その収穫、報酬は？ ほ～～～～ わお～～！！です。

「移す」宝を移す。二人の主人に仕えること、愛すること(それは不可能です)の間で悩むことがなくなるだけでなく、ダブルビジョンにもなりません。体の灯りは目だからです。ですから、二心もダブルビジョンも何もありません。私の焦点は、ただひたすら天にあります。皆さん、聞いたことがあるでしょう。残念ですが、マーク・トウェインが言った言葉です。失礼ながら、完全に同意しかねます。しかし彼の有名な格言、「天を思う心は、地上で善にはならず。」私は逆だと思えます。天を思う心を持てば持つほど、地で益を得られると思えます。なぜか？ その永遠への焦点が故に。あなたは人生のすべてを、人生のすべての関係を、人生のあらゆる面を永遠の命というレンズを通して見る。それがすべてを変えます。

なぜなら、永遠という雛型を一時的なものより優先すると、ほう～～～～ですから以上が質問です。牧師の私にこのような質問はできません。私は既に対応済みですから。(笑) カポノ、上がってきてください。ご起立ください。締めくくりましょう。ほ～～、乗り越えました。良かった。ちょっと暑くなってきました。だから、別にエアコンがあるんですよ。この説教のためにつけました。祈りましょう。父なる神よ、感謝します。これは良いことです。私たちは、厳しくも良い、正直な質問で、私たちの心を内省的に探る必要があります。なぜなら、主よ、私たちはあなたに、私たちの心を探り、私たちの心の動

機、私たちの心の願望を探っていただきたいからです。私たちは、それらがあなたと一致し、あなたに喜ばれたいのです。ですから、主よ、感謝します。これは良いことです。私たちはこれを聞く必要があり、問う必要があります。そのことに感謝します。

主よ、ここから先は、いつもご忠実であられる通り、聖霊によってお願いします。イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7